

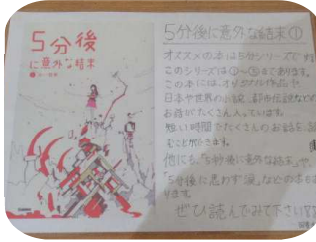
『日々の足跡』

三春町立三春中学校

【着実に、確実に！～今日も校旗は揚がり、図書が紹介されています。～】

毎朝、生徒会の子どものおかげで校旗が掲揚台ではためています。校舎を巡回すると『5分後の意外な結末』という本の紹介が図書委員により棚の上で紹介されます。

目立たない活動ですが、着実に確実に仕事を全うする姿には頭が下がります。自分のために、みんなのために（共に）、着実に、確実な（ひたむきで、こころ豊かな）活動こそ大事にしなければならないと強く思います。



【アンサンブル発表会！～心と音を、つなぎ、合わせて、すばらしい演奏になりました。～】

3学年音楽科『アンサンブル発表会』を行いました。音楽室の扉を開くと8番目の女性3人組演奏の音が響きはじめました。フルート・ピアノ・ボーカルの美しい演奏と曲に感動しました。締めは『パプリカ』の演奏で、会場中を巻き込みながら、一体となって演奏を楽しみました。音楽のすばらしさ・心の豊かさを忘れてはならないと感じました。



【御木沢小学校授業研究会へ参加！～町の学力向上の方向性について考えました。～】

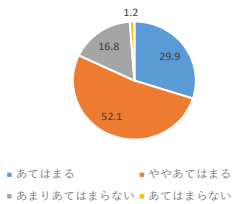
御木沢小で道徳の授業研究会が開催されました。参加者28名、麻布教育研究所の永島先生が講師の先生でした。永島先生は、右手にデジカメ、左手には三脚にセットしたカメラらしきものを持ち、子どもたちの動きに注目しつつ、教室をめぐって歩いていました。事後研究会では、「今日の子どもの学ぶ姿から参観者のみなさんが学んだことは何か。」と講師の先生から課題が提示され、「3人グループで話し合ってください。」「それを参加者全員が30秒で発表してください。」と続きました。事後研究会で一貫していた講師の永島先生の姿勢は、「すべての子ども全員をとにかく見尽くそう」「指導の原点として一人ひとりの子どもが見えるようになる必要がある」ということではなかったかと振り返りました。次年度につながる『三春の教育』への提言授業でもあったと感じました。



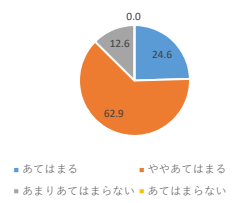
【御木沢小学校授業研究会へ参加！～町の学力向上の方向性について考えました。～】

先日ご協力いただいた三春町学校評価システム学校評価アンケート『先生は一人ひとりに応じた指導をしている』の18.0%の否定的評価に対し、『一人ひとりの生徒をしっかりと見尽くす』ことが授業・指導改善への特効薬だと思います。同様に、『先生は分かりやすい授業に努めている』の12.6%、『学校は学習の成果を適切に評価している』の3.6%のみなさんへは、『指導の原点は一人ひとり子どもたちをしっかりと見るところから始まる』に立ち返ることで、肯定的な評価につながるものと確信します。

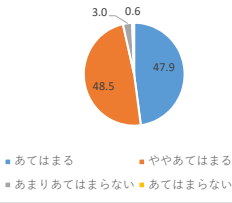
【設問4】先生は、一人一人に応じた指導をしている。



【設問5】先生はわかりやすい授業に努めている。



【設問6】学校は、学習の成果を適切に評価している。



【町食育推進実行委員会開催！～『つながる食育』の成果と課題について協議しました。～】

三春町主催第2回食育推進実行委員会が行われました。本校栄養教諭から『食育』の成果と課題を、関係教職員からは『食育』とつながった教育活動を報告し、委員のPTA佐久間会長様、岩江中高橋校長先生、永年本校『食育』に対しご指導・ご助言いただいている郡山女子大の亀田先生、県教委健康教育課指導主事の遊佐先生よりお話をいただきました。明日2月8日（土）の10時から『親子料理教室』も予定されています。

